



## センターからのお知らせ

### 環境保全型農業直接支払交付金

化学肥料・化学合成農薬の 5 割低減とあわせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する事業です。具体的な対象事業は、下記のとおりです。

平成 28 年度から新規に申請を希望される方は、農業振興センターまでご相談ください。

対象者：複数戸で構成される農業者団体  
対象取組：カバークロープ、堆肥施用、  
有機農業、中干延期等  
支援単価：対象取組に応じて  
3,000 円～8,000 円/10a

※上記の対象取組の実施の他、必要な要件等があります。

〔お問い合わせ先〕 生産振興係  
(北区以外) 天野、金城 TEL 975-6895  
(北区) 建部、田中 TEL 975-6894

### 農林水産省環境保全型農業推進コンクールで

#### 生産局長賞を受賞されました

西区伊川谷町の蒔谷富喜男さんが有機栽培技術の確立、研修生の受け入れや県内外の有機栽培農家の育成などの功績が称えられ、環境保全型農業推進コンクールで農林水産省生産局長賞を受賞されました。

3 月 2 日に東京で表彰式が行われ、3 月 10 日には近畿地域環境保全型農業推進シンポジウムにおいて取り組みについて発表されました。



## 人・農地プランが新たに作成されました！

現在、農村集落では、農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加により、将来の農地の管理に不安が生じています。

そこで、神戸市では、5 年後、10 年後の集落内の農地管理の展望を描くため、人・農地プランの作成を進めています。

平成 28 年 1～2 月のプラン検討会では、新たに北区で 1、西区で 6 地区で作成されました。これにより、北区で 21、西区で 35、合計 56 プランが策定されたこととなります。

人・農地プランの作成により、国の農機具購入補助などの支援が受けられます。

今後、人・農地プランの作成についてのご相談は、農業振興センターふるさと振興係にご連絡ください。

〔お問い合わせ先〕

ふるさと振興係

朝生、松本、中尾 TEL (078) 975-6845

※3/28からの新番号⇒(078)975-6860



## 組織名称および電話番号の変更のお知らせ

このたび職制改正に伴い、組織名称が変わることになりました。

また、電話番号につきましても、以下のとおり変更・増設をすることになりました。

### 1 組織名の変更

神戸市 **経済観光局** 農政部農業振興センター  
〈平成 28 年 4 月 1 日 (金) より〉

### 2 電話番号の変更

ふる里振興係 (里づくり) ⇒975-6860

生産振興係 (共済) ⇒975-6894

農業委員会 (相談窓口) ⇒939-3860

〈平成 28 年 3 月 28 日 (月) より〉

※代表番号、生産振興係 (西・北)、  
畜産振興係の番号は変わりません。



## 神戸北山田錦生産者大会の開催

3月1日（火）、神戸フルーツ・フラワーパークにおいて、「神戸北山田錦生産者大会」が開催されました。

大会では、昨年12月15日（火）に開催された神戸北山田錦品評会の審査講評及び表彰式が行われ、出品点数170点の中から厳正なる審査により19点を決定しました。

入賞者は次のとおりです（敬称略）。

兵庫県知事賞	淡河町	澤田 保夫
神戸市長賞	淡河町	増田 輝臣
近畿農政局地方参事官 （兵庫支局長）賞	道場町	植田 英俊
神戸市産業振興局長賞	淡河町	藤原ゆう子
神戸農業改良普及センター 所長賞	淡河町	澤野 直昭
兵庫県酒造組合連合会 会長賞	淡河町	北上 裕
全国農業協同組合連合会 兵庫県本部長賞	山田町	井上 繁樹
兵庫県酒米振興会長賞	道場町	山脇 幸弘
兵庫六甲農業協同組合 会長賞	淡河町	中谷 達雄
JA 兵庫六甲神戸北山 田錦部会長賞	淡河町	林 強
神戸北地域水田農業推 進協議会長賞	淡河町	藤本 淳也
優秀賞		3名
敢闘賞		5名

表彰式の後、兵庫県立農林水産技術総合センター農産園芸部の主任研究員 杉本琢真氏による「平成27年度 山田錦の特性および栽培管理について」の講演が行われました。

### 西区みのり通信 伊川谷町の軟弱野菜特集

1月25日、27日に、西区役所から発行される「西区みのり通信（春号）」の取材がありました。

今回のテーマは伊川谷町の軟弱野菜。部会等の代表を務める山中靖典さん、北井裕久さん、村上貴史さんに取材にご協力いただき、伊川谷町の軟弱野菜や農業の魅力についてお話いただきました。

3月下旬に西区内の連絡所、JA支店等で配布予定です。  
乞うご期待！！



## 神戸の農業に関するアンケート調査③

27年1月～2月に実施した「2015年農林業センサス」と併せて行ったアンケート調査の結果第3弾についてご報告します。  
（数字は、全体のうちの割合です）



### 10. 地区外からの移住者の受け入れについて （\*新規設問）

- ①「地域のルールを守れば受け入れる」73%
- ②「積極的に受け入れたい」7%
- ③「受け入れられない」7%

回答者の8割は移住受入れに賛成となっている。

### 11. 集落内の空き家の戸数について（\*新規設問）

- ①「1～5戸」33%
- ②「0戸」18%
- ③「不明」8%

## Ⅲ 今後の農業施策について

### 12. 神戸の農業の維持について

- ①「兼業農家の維持に対する支援」41%
- ②「集落営農組織による農地保全」38%
- ③「JAによる農地管理の推進」35%

### 13. 神戸の農業でもっとも力を入れて欲しいこと について

- ①「農業用機械等の設備投資支援」40%
- ②「農業後継者の確保」29%
- ③「集落営農組織の育成・支援」29%

### 14. 今後の米づくりについて（\*新規設問）

- ①「農地保全のために自家用米を栽培」44%
- ②「生産効率向上等により所得確保」27%
- ③「一部を加工用米に転換したい」4%

### 15. 農産物の海外輸出について（\*新規設問）

- ①「興味はない」45%
- ②「興味があるが、単独で輸出をすることは考えていない」33%
- ③「今後検討していきたい」6%